

資料－４－２ 住民の皆様からの意見の状況

第4回ふれあい懇談会の報告

◇開催趣旨:木曽川水系河川整備計画原案(案)に対し、みなさまからのご意見をお聞きました。

◇開催日:平成19年11月17日(土)

◇開催結果:

会場名	開催時間	開催場所	参加人数	発言意見数	アンケート回収数	アンケート意見数	付箋意見数
岐阜会場	14:00～16:00	岐阜市役所本庁舎	53	13	5	7	2
一宮会場	10:00～12:00	一宮市役所尾西庁舎	36	9	7	12	19
桑名会場	10:00～12:00	桑名市 長島防災コミュニティセンター	54	12	4	6	10
合計			90	21	11	18	29

第4回ふれあい懇談会 一岐阜会場一

○日時:平成19年11月17日(土)14:00～16:00

○場所:岐阜市役所本庁舎3F大会議室

○参加人数:53人

○説明のポイント:

- ・木曽川水系河川整備計画原案(案)の説明
- ・これまでに頂いた主な意見に対する

河川管理者の考え方を説明

- 1) 樹木の保全及び伐開の考え方
- 2) 自然再生の考え方
- 3) 外来種対策の考え方
- 4) 川と人とのふれあい増進の考え方
- 5) 不法投棄への対応
- 6) 河道の土砂堆積対策
- 7) 農業用水の現状
- 8) 連絡導水路の補給先
- 9) 木曽川水系連絡導水路の環境への影響

○主な意見:

- ・樹木伐開を行った際に他所から移植するのではなく、根移植により現地にある樹木を再生した方がよいと思うが、そのようなことは可能か。
- ・どういった対策を講じたら水利が減じられるか検討すべきである。
- ・田畑に住む生き物の為にも川の水をすぐに伊勢湾に流すのではなく、一定量を農業用水に回すことが必要であり、生態系を維持するという観点からも重要である。
- ・導水路事業について、治水特別会計から890億×65%を河口部のヤマトシジミが大切だからということで使う緊急性の意味が分からない。
- ・優先順位からみて、導水路事業より他にやるべきことがあるのではないか。
- ・愛知用水地域の水不足は解消すべきだと思う。但し、揖斐川の水を長良川に配水するのは不要である。長良川への配水の意味が分からないし、誰も必要としていない。むしろ水で困っている根尾川に配水すべき。生物の為にも。
- ・外来種について、揖斐川から長良川に導水路を通過して入ってくることにより外来種が拡散するのではないか。

など



発言の様子



意見募集状況

第4回ふれあい懇談会 ―一宮会場―

○日時:平成19年11月17日(土)10:00～12:00

○場所:一宮市役所尾西庁舎6F大ホール

○参加人数:36人

○説明のポイント:

- ・木曽川水系河川整備計画原案(案)の説明
- ・これまでに頂いた主な意見に対する

河川管理者の考え方を説明

- 1)樹木の保全及び伐開の考え方
- 2)自然再生の考え方
- 3)外来種対策の考え方
- 4)川と人とのふれあい増進の考え方
- 5)不法投棄への対応
- 6)河道の土砂堆積対策
- 7)農業用水の現状

○主な意見:

- ・「保全すべき樹木」として、防風雨、防熱(温暖化防止)等、地域に貢献している樹木も追加記載してほしい。
- ・外来種の対応は、全国的な問題であり、今後も継続的に考えてほしい。
- ・木曽川左岸41～42k付近の樹木は、不法投棄も多く、河川巡視にも支障をきたす。継続的に伐採してほしい。監視カメラを設置してほしい。
- ・環境保全といって異常渇水時にヤマトシジミを守るために890億×65%もの予算を使うのは、理解できない。
- ・優先順位からみて、導水路事業より他にやるべきことがあるのではないか。
- ・江南市から尾西迄の間を遊歩道で連携できるような計画が欲しい。
- ・名鉄犬山橋上流右岸において、ワンド再生計画に砂れき河原の再生を含めて検討してほしい。人が川にふれあえる樹木群にしてほしい。
- ・ふれあい会議は毎年1回以上は行なってほしい。
- ・川と人とのふれあい増進の考え方については、今までの意見をふまえてよくまとまっている。

など



発言の様子



意見募集状況

第4回ふれあい懇談会 ー桑名会場ー

○日時:平成19年11月17日(土)10:00～12:00
○場所:桑名市長島防災コミュニティーセンター
2F多目的ホール

○参加人数:54人

○説明のポイント:

- ・木曽川水系河川整備計画原案(案)の説明
- ・これまでに頂いた主な意見に対する
河川管理者の考え方を説明

- 1)河道掘削の考え方
- 2)樹木伐開の考え方
- 3)堤防整備(高潮堤防、一般堤防)の
考え方
- 4)堤防強化の考え方
- 5)内水処理計画の考え方
- 6)自然再生の考え方
- 7)水利権の考え方
- 8)川と人とのふれあい増進の考え方
- 9)不法投棄の対応
- 10)河川利用・水面利用の適正化

○主な意見

- ・木曽川と長良川の背割堤の桜の管理は地元で実施している。既に枯れているものもあるので、国に管理してほしい。
- ・揖斐川左岸にはスポーツやリクリエーション施設がない。散策する人も多いので、整備してほしい。
- ・揖斐川の油島大橋付近の樹木が橋の上まで繁茂して住民は怖がっている。環境保全の対象でなければ伐開してほしい。
- ・揖斐川太田特殊堤について、地盤沈下が進み家が傾いている。今なら転居しても良いという人がいるから堤防整備をしてほしい。
- ・揖斐川の水を上流で木曽川に導水されるが、揖斐川の下流の塩分遡上や水利権も十分配慮して検討してほしい。
- ・占用料が倍になって、生活に支障をきたしている。
など



発言の様子



発言の様子